

子どもの虐待防止推進 全国フォーラム inとっとり



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

入場無料

手話通訳有り

要約筆記有り

託児有り 要予約

～子どもたちの未来のためにつなぐ確かな絆～

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています（H16年度から実施）。この取組の一つとして、児童虐待問題に対する理解を国民一人一人が深め、主体的な関わりを持てるようにするためのフォーラムを開催します。



令和元年

日時

11月16日(土)

13:30～17:30

11月17日(日)

9:00～12:45

13:30～ 開会式

主催者及び共催者代表挨拶
児童虐待防止推進月間標語最優秀賞
(厚生労働大臣賞)の授与

9:00～ 分科会

- ① 「被害者支援を考える ～被害者が望む支援とは？」
- ② 「司法面接の現状と課題 ～今後の司法面接のあり方～」
- ③ 「医療と他機関連携 ～子ども虐待予防と多機関連携で子どもの未来を守る～」
- ④ 「地域支援(拠点と他機関連携) ～子どもを守るしくみづくり～」

14:00～ 基調講演

演題 虐待の影響について考える
～子どもたちが力強く成長するために出来ること～

講師 オルガ・R・トウルヒーヨ氏(米国弁護士)

16:15～ いのちを考える音楽会

語りと歌 村上 彩子氏(ソプラノ歌手)

11:30～ 全体会

12:30～ 閉会式

17:30 閉会



場所

倉吉未来中心
(倉吉市駄経寺町212-5)



主催

厚生労働省



共催

鳥取県・倉吉市・三朝町・湯梨浜町・琴浦町・北栄町

参加申込は県ホームページから

とっとり 虐待防止推進全国フォーラム

検索

お問合せ先

鳥取県子育て・人財局家庭支援課

電話0857-26-7149 FAX0857-26-7863

E-mail kateishien@pref.tottori.lg.jp

託児のご案内

要予約・無料

予約締切日

11月1日(金)12:00まで

※定員あり お早めにお申し込みください。

ホームページ



講師等の紹介

オルガ・R・トゥルヒーヨ氏

《プロフィール》

幼少期から十代にかけて、父や兄から性虐待を受け、DID(解離性同一性障害)を発症。自分が細かく分かれて存在している感覚が長く続き、人との信頼関係を築くのが難しかった。その後、よきパートナーを得て回復。「ジェンダーにもとづく暴力(女性に対する暴力)」防止の社会活動に立ち上がり、弁護士としてDV、子どもの虐待、性暴力被害、そしてトラウマの影響に関する取り組みに関わる。世界各地で講演会を開き、数々の荣誉ある賞を受賞。DIDを抱える多くの仲間のために、DIDへの理解をすすめようと取り組む。

米国司法省において司法計画局の法務顧問および犯罪被害者支援室の弁護士等として35年以上活躍。トラウマが性暴力、DV、児童虐待や人身売買のサバイバーにどのような影響があるのか、理解を深めるために国内外での講演や執筆活動中。

現在、パートナーのケイシー、犬たち、猫たちとともに、ウィスコンシン州の農場で暮らしている。

村上 彩子氏

《プロフィール》

幼少期、教員である両親からスパルタ教育を受けると同時に、父親からは強い暴力、母からは酷い暴言を受けて育つ。大阪音楽大学卒業後、働きながら東京芸術大学声楽科を7回受験し合格を果たす。DVの後遺症を抱え、生死を彷徨いながらも挫折と絶望を乗り越えた体験に基づき、命の大切さを「語り」と「歌」によって聴衆に伝え続けている。

《経歴》

大阪音楽大学音楽学部声楽科、東京芸術大学音楽部音声科卒業

《受賞歴》

全国ソリストコンクール優秀賞、文部科学大臣賞、大阪国際音楽コンクール奨励賞、アジア国際音楽コンクール奨励賞 等多数

《出演歴》

日本大使館主催コンサート(ルクセンブルグ)、日韓国際文化交流リサイタル(韓国)、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団との共演(ブルガリア)、諸外国でのリサイタル多数(フランス、中国、台湾、ウクライナ)

2006年より学校、企業、病院、官公庁等に主催頂き、720回のコンサートを開催、約11万人が来場した、関西二期会準会員

分科会のパネリスト (一部、調整中)

分科会		コーディネーター		パネリスト等	
No.	テーマ	所属	氏名	所属	氏名
①	被害者支援を考える ～被害者が真に望む支援とは～	特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク鳥取 常務理事	西井 啓二	米国弁護士・コンサルタント	オルガ・R・トゥルヒーヨ(Olga R.Trujillo)
				ソプラノ歌手	村上 彩子
				一般社団法人Spring代表理事	山本 潤
				通訳(NPO法人レジリエンス 代表)	中島 幸子
				通訳	伊藤 聖美
②	司法面接の現状と課題 ～今後の司法面接のあり方～	弁護士法人やわらぎ鳥取事務所 代表弁護士 きたの法律事務所 弁護士	大田原 俊輔 北野 彬子	ベシアヴェニュー法律事務所 弁護士	飛田 桂
				博愛病院 産婦人科部長	片桐 千恵子
				検察官	(調整中)
				鳥取県米子児童相談所	石橋 弥雪
					小松原 慶一
③	医療と他機関連会 ～子ども虐待予防と多機関連携で 子どもの未来を守る～	鳥取県小児科医会 会長	石谷 暢男	医療法人井上小児科医院 院長	井上 登生
				浜松市子どもこころの診療所 所長	山崎 知克
				(独)国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー科医長 育児支援対策室長	木下 あゆみ
④	地域支援 ～子どもを守るしくみづくり～	日本大学危機管理学部 准教授	鈴木 秀洋	中津市子育て支援課 主査	高橋 絵美
				南房総市教育委員会 こども教育課支援係 主査・教育相談センター長	鈴木 智
				山口市子ども未来部 保育幼稚園課やまぐち 子育て福祉総合センター長	林 和子
				鳥取市健康こども部次長兼こども家庭相談センター所長	三谷 裕之